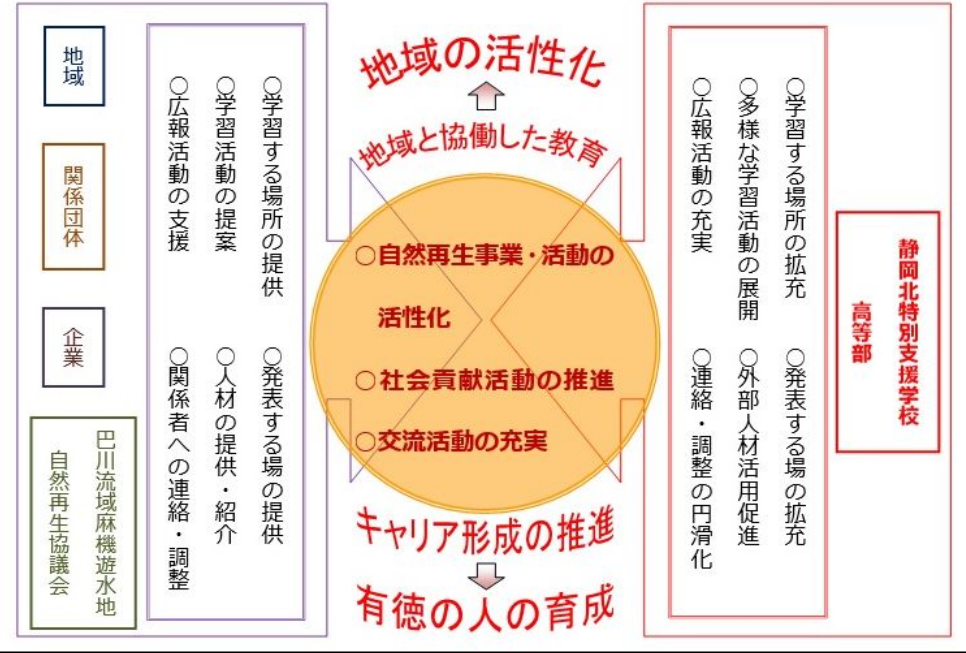


麻活プロジェクト

麻機で生活する私たちの私たちによる私たちのための活動 ～麻活～

静岡県立静岡北特別支援学校

静岡県立静岡北特別支援学校高等部 麻活グラントデザイン



現代の社会づくりにおいて、誰もが相互にその人格と個性を尊重し合えるような「共生社会」の実現を目指すことが必要とされるようになりました。そのためには、教育現場においても、これまで以上に児童生徒が地域社会の方々とふれ合い、共に活動（協働）する機会を設けることが非常に重要な取組となると考えられています。

さて、静岡県立静岡北特別支援学校（以下、本校という）は、巴川流域麻機遊水地自然再生協議会（以下、協議会という）のメンバーです。この協議会は、NPO や各種関係団体、専門家、地域住民等によって構成され、麻機遊水地の自然環境を保全、再生、維持管理するために活動しています。麻機遊水地のほぼ中央に位置する本校が、周囲の環境問題に関心を寄せ、直接的・間接的な交流を通して自然再生事業に取り組み、社会貢献活動を行うこと、つまり、地域における役割を果たすことが大切であると考えました。

そこで、地域の方々と協働し、多様な教育活動を展開するために「麻活プロジェクト」を起ち上げました。この「麻活」には「麻機で生活する私たちの、私たちによる、私たちのための活動」にしたいとの願いが込められています。本校の児童生徒と地域の方々との相互理解・共通認識を深めるとともに交流の幅を広げ、支え合い・学び合い・高め合う関係づくりと、生徒が自身の体験を意味づけ、地域との関係づけをしていくことを目指しています。

また、この「麻活」は、本県の教育の基本目標である「有徳の人の育成」にもつながるものと考えます。すなわち、①いつでも、誰でも、どこでも学び続けるという、生涯学習の基盤を培い、②それぞれの学びを、互いに支え合い、高め合うという、多様な生き方や価値観を認め、人との関わり合いを大切にす態度の育成に資するものであり、③その成果を、家庭、学校、地域や職場等の生活の場で発揮するという、社会の一員として、よりよい社会づくりに参画し、行動する人の育成に資すると考えています。



印刷班

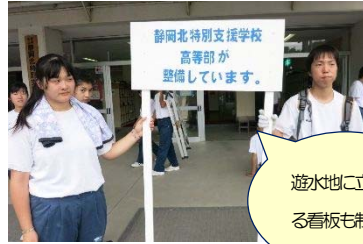


子ども病院さんの
ショップへも納品

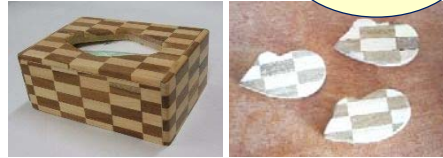
← 名刺やメモ帳、遊水地の写真
を使ったカレンダーなど
↓ ヨシ紙も製作中!!



木工班



遊水地に立
てる看板も制作



↑ 木工製品の他、カヤネズミマグネットを開発
現在、遊水地の鳥の巣箱を製作中!

リサイクル班

↓ アルミ缶やペットボトルを地域企業等へ



↓ モリスさんからいただいた
たこコーヒーを消臭剤に



↑ 竹パウダーを使った掛籠作り
(Balance さん)

(平成26~27年度の地域題材を中心とした実践)

メンテナンス班

↓ 校内外のメンテナンス

(中央特別支援学校さん、子ども病院さんへも)



工芸班

↓ カヤネズミマスコットと蓮の葉ポーチ



革工芸班



カードケースや
ストラップなど →

地域とともに “働く”

静岡北特別支援学校高等部では、職業教育の一環で作業学習を行っています。全部で十の作業班を編成し、生徒が働きながら将来の社会自立に向けた力を育てています。

生活エコロジー班

↓ 地域の庭を作る会さんからの依頼を受ける



栽培班

千寿園さん、アースシフトさん
Balanceさん、モリスさん…
たくさんの方との共同作業です。



ショウガのひげ根を
取り、濱村屋さんで
しょうまいに加工

遊水地再生事業班

アースシフトさん、山本建材さん
Balanceさん、滑重機さん、キ
オプライフさん、鈴与建設さん…
たくさんの方との共同作業や資材
提供をいただいています。



↑ 除草作業：「遊水地クリーン作戦」



↑ 竹灯籠製作：古庄地区夏祭り



↑ 竹灯籠製作：流通センター夏祭り



↑ ヨシの写真立てや
ヨシチップなど

生活クラフト班



↑ フェルトボールと蓮を使った飾り作り

総合的学習の時間

遊水地はどこなところなんだろう? ~遊水地について 調べる~

【1年生】

動物、鳥、魚、昆虫、植物、歴史文化といったグループを組んで、遊水地について調べる活動しています。また、静岡土木事務所の方からも遊水地の成り立ちについて教えていただくこともできました。七夕豪雨や台水の仕組み、遊水地の豊かな自然を知りました。生徒たちは「遊水地は大切」「遊水地を守りたい」という気持ちを持っています。

【2年生】

東邦大学の西藤先生に協力をいただき、「土の中の宝物実験」(シードバンク調査)を行っています。遊水地の土を掘り返し、眠っていた植物の種子を実験コンテナの中で育てています。実験コンテナにはたくさんの植物が生え、これからどのように育つのか楽しみです。また、

【3年生】

「お気に入りの遊水地」をキーワードに遊水地に出かけました。それぞれに、気に入った動植物や風景写真を撮り、廊下に飾ってお互いに紹介しました。他にも、遊水地について調べたり、遊水地のバスの作成したりしています。



地域の中で "学ぶ"

静岡北特別支援学校高等部では、麻機遊水地を中心に置き、地域について学ぶことで、生徒たちの地域への所属感や帰属感を育てています。

特別活動

遊水地の素敵な瞬間を撮影 ~校内写真コンクール 開催~

日々の生活の中で、生徒たちが遊水地に出かけて撮りためた写真を使い、生徒会主催のコンクールを行っています。各クラスから出品された自信の一枚は、本当に素敵です。生徒全員で投票をして、優秀作品が決定しました。



「空に向かってたくましく咲く命」

「遊水地で大ジャンプ」

「緑の世界に続く道」

☆ 静岡信用金庫成化支店さんや静岡銀行さん(予定)の協力をいただき、写真展を開催し、地域のみなさんに楽しんでいただいています。

美術

遊水地でアート ~遊水地をモチーフに作品制作~

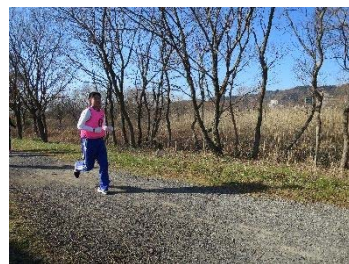
遊水地を歩いて感じた気持ち、遊水地の自然への思いなど、鮮やかな色づかいでキャンパスに表現し、温かな作風を追求しています。



体育

遊水地を駆け抜ける ~持久走~

冬になると、生徒たちが遊水地内の風を切って走っています。陸上部もロードワークに出かけます。



中央特別支援学校さんとの連携

遊水地内の定期的な観測を行っています。毎月、決められた観測地点(AからH)から写真を撮り、周辺の草木の生長とごみの投棄を確認しています。この写真データは、中央特別支援学校の生徒さんが自然再生協議会のホームページにアップしています。

